



松根城



小原越を遮断する大堀切

所在地：石川県金沢市松根町、富山県小矢部市内山
立地：丘陵頂部、標高308m
城主：木曾義仲、桃井直和、一向一揆、杉山主計
(佐々成政家臣)

時期：平安末期、南北朝、戦国
見学時間(参考)：30分～1時間

砺波山丘陵の最高所に位置し、北陸街道脇道の小原越が通る交通の要衝である。松根城は加賀・越中の国境を舞台に前田利家と佐々成政の抗争の痕跡を現在に伝える「加越国境城跡群及び道」として切山城、小原越と一括で平成27年10月国史跡に指定された。



大堀切に続く小原越

寿永2年(1183)木曾義仲は松根山に布陣したと伝わる。応永2年(1369)南朝方の桃井直和が籠る松根陣を、幕府に与する得江李員ら能登勢が攻め落としたという得江李員軍忠状が残っており、平成24年の発掘調査で同時期の土師皿が見つかっている。その後、加賀一向一揆の拠点として、長享2年(1488)に越智伯耆、天文19年(1550)洲崎兵庫が在城した。



小原越・松根峠

天正12年(1584)加賀の前田利家と越中の佐々成政が対立し、成政は松根城を大改修して小原越を封鎖している。翌13年豊臣秀吉の越中出陣を前に佐々方は松根城を放棄し撤収したため、戦闘が行なわれることなく前田軍に接收された。

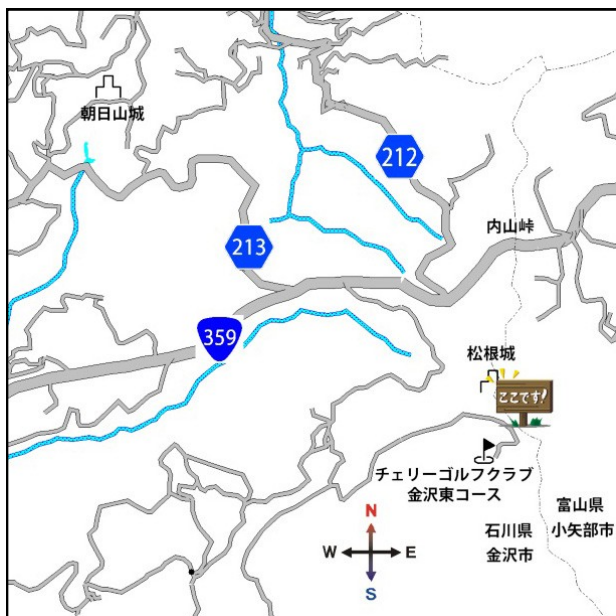
城跡は昭和40年代の公園化工事により遺構の一部が破壊され不明瞭である。



主郭から東方、小矢部市街、立山連峰を望む



三の丸から北方、内山峠、俱利伽羅峠、宝達山を望む



大手門、馬出曲輪



主郭(本丸)の城址碑

いしかわ城郭カードに関する最新情報・お問い合わせ
北陸城郭プロジェクト(フリー・スタイル株式会社)
〒929-0335 石川県河北郡津幡町井上の荘3-9
TEL. 076-204-6046 FAX. 076-289-3943
E-MAIL. contact@j-sampo.com
ホームページ城郭さんぽ <https://www.j-sampo.com/>